

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年3月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4692600028
法人名	社会福祉法人 滴々会
事業所名	グループホーム 音野舎
所在地	鹿児島県南九州市知覧町郡2069番地2 (電話) 0993-58-7181
自己評価作成日	令和5年2月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年3月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

住み慣れた場所の馴染の顔ぶれに囲まれて、安心して生活していただけるような関係づくりに努めています。訴えや要望があった時は傾聴し、なるべく意向に沿った対応が出来るように努めています。レク活動では回想法や室内レクが主ですが、気候や人員の状況によっては近くの公園まで弁当を持ち遠足へ出掛けたり、ドライブや散策に出掛けています。食事面は法人の管理栄養士が考案した献立を調理担当が作り、旬の食材やバランスの取れた食事がとれていると思います。健康面では朝夕のバイタル測定や状態観察を行い、状態変化時は看護師や主治医へ相談し受診が出来る体制をとっています。地域との関りは運営推進会議での情報交換や避難訓練では消防署や地域の方々の協力があり、関係づくりが出来ていると思います。面会は窓越しや屋外で短時間の面会でご不便をかけていますが、3カ月に1度請求書発送時に近況報告の文書を同封しており、電話があった際にも本人へ繋いだり近況報告をしたりとご家族からも安心して頂けるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、母体の特別養護老人ホームや看護小規模多機能ホーム他の事業所と同一敷地内にある。コロナ禍で他事業所との交流は制限されているが、法人での各委員会や避難訓練等を通して協力体制を築いている。また、健康面に配慮し看護師による健康管理が行われている。
- ・思うように面会ができない中、家族には面会時や電話での近況報告、3ヶ月毎の報告書発送などを通して日々の様子を伝えるように工夫し、家族と本人の関係維持・相互の精神的安定を図っている。
- ・満足度調査を家族や本人へ毎年実施し、サービスの向上に取り組んでいる。
- ・外出は制限されているが、できるだけ近隣の散歩や公園への遠足、ミカン狩り、ドライブ等に出かける機会を作り、季節を感じたり気分転換を図り楽しく過ごしてもらえるよう工夫して取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の朝礼時に理念を読み上げ実施出来るようにしている ・理念の共有に努めているが、反省点が多いところもある。 ・利用者個人個人が理念に沿って支援が出来るようか確認を行っている。 ・実践出来るように意識している。 	理念を、重要事項説明書及びパンフレットに掲載し、玄関・事務所等に掲示している。申し送り及び事業所会議時に理念の確認を行い、実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍である為、地域との交流は控えているが、園の行事やイベントなどは実施して、利用者様に満足して頂いている。 ・ここ3年ほどコロナ禍で制限されており短時間ではあるが行事等で他事業所との交流を実施出来た。 ・以前のような地域との交流は出来ないがドライブ等は時間を作り行っている。 	自治会には法人で加入している。コロナ禍のため地域行事への参加は見合わせているが、法人内の他事業所と高校のミカン狩りに一緒に出掛けて福祉科の学生と交流したり、事業所の焼き芋大会では他の事業所にも声掛けをして参加してもらうなど、他事業所との交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない ・事業所内では認知症について本人の想いをくみ取り代弁者として地域へ発信する機会は推進会議にて行っている。 		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で書面開催の時もあり、全員を介しての開催は少なかった。集まった時はご意見や地域の情報等を頂き参考にさせて頂いた。 	2ヶ月毎の運営推進会議は対面での開催時には、写真での活動紹介や地域行事の情報提供等もあり、相互の意見交換が行われている。コロナ禍のため書面開催も実施し、委員に資料を送付し事業所の状況を理解してもらえるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・推進会議にて状況報告をし市町村担当者から質問があった際は速やかに報告し連絡を取っている。 ・事故報告や分からない点は市へ連絡し指導をもらっている。 ・日頃から連携を密に取れるようになるべく対面での関係を心がけた。今回は地域包括支援センターの担当者より相談を受け協力・支援に繋がることが出来た。 	市の担当者とは、運営推進会議での意見交換や電話・メール・窓口に出向いての相談等で日頃から連携を図っている。生活保護受給者には福祉担当職員の来訪があり、こまめに相談等をしている。最近では地域包括支援センターからの相談を受け、視覚障害のある独居老人の入居受け入れに繋がる支援に協力して取り組んだ事例がある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・拘束はしないで付き添い・見守りを実施している。帰宅願望がある利用者様には時間を見つけて自宅を見に帰り安心してもらっている。 ・対応がわからない時は職員間で情報を共有している。・玄関は施錠せずドアに鈴をつけて音が鳴ったら一緒に散歩に出かけたり日向ぼっこをしている。 ・身体拘束は事業所会議等で確認や勉強会を行っている。利用者様より「外に出たい」と訴えがあった時は玄関先まで散歩をしている。 	指針を作成し、委員会は法人で2ヶ月毎に開催している。研修は事業所会議時に事例研修を行ったり、拘束についてのズーム研修を受けている。転倒予防のため家族の了解を得てセンサーを利用している。日中の玄関の施錠はせずに、外出希望の利用者には職員と一緒に散歩や自宅訪問のドライブで対応し、行動を制限しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・法人・事業所内での研修を行い注意を払っている。特に声掛けも職員間で注意が出来るように努めている。 ・認知症を理解する上で意見を出し合って利用者様の気持ちに寄り添う努力をしている。 ・事業所会議で研修をしている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人で研修を開催予定だったがコロナの為延期となった。 ・制度について分からない点が多く研修等で今後学んでいきたい。 		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時に「重要事項説明書」「利用契約書」を基に説明・相互確認を行い納得の上で署名・捺印を頂いている。 		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年「満足度調査」を実施し結果を事業所会議で話し合っている。ご家族からの貴重な意見を参考に支援の向上に努めている。 ・面会時や電話連絡の際にご家族から意見や要望があった時は連絡帳へ記載し共有に努めている。 	<p>本人・家族に満足度調査を実施し要望等の把握に努めるほか、家族の面会時や電話でも要望を聞き、職員間で情報の共有を図り対応している。本人の希望で嗜好品購入や自宅訪問のドライブに繋がった例もある。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所会議の際に管理者より法人の「運営会議」での報告を受けている。実績に繋がる事も多く意識付けになっている。 ・事業所会議や朝礼等で管理者が報告している。 	<p>管理者は、事業所会議時に法人での会議の報告を行い、職員の意見も聞いている。介護方法の統一に関する意見を、安楽な介護技術の勉強会に反映させケアの向上に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・「働き方改革」で労働時間・給与面でも少しずつ良くなってきたと思う。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・コロナ過でzoomの開催が殆どだった。基礎研修は全員参加し、その他グループホーム連絡協議会の支部研修にもなるべく全員が参加出来るように促している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・同業者との交流はコロナ過でなかったが、集まれるようになれば参加して情報交換などしていきたい。</p> <p>・連絡協議会の集まりが2カ月に1回あり意見交換ができたが参加は管理者のみだった。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用開始前に本人・家族と会ってアセスメントを取り支援計画を作成している。また要望なども取り入れながら安心して生活できるように支援している。 ・事前に情報収集を行い本人から生活歴の話から傾聴に心がけ安心する言葉をかけ信頼関係を築けるように努めている。 ・各利用者様、認知症に対する理解を深め柔軟な対応を心がけ信頼関係を築くことに努めている。 ・入居時、本人の要望や家族からの情報・要望を聞きながら生活出来るように支援する。 ・日々の時間の中で本人の話聞きながら安心出来るように心掛けている。 		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の気持ちや身体的なことなど家族に連絡を行い状況が把握出来るように努めている。 ・今はコロナ過で家族が思うように面会が出来ていない為本人・家族も不安な面があると思う。来園時には近況報告を行っている。 ・家族から今までどういうところに困っていたか傾聴し入居してからも要望に応えられるように努め少しでも変化があった際は報告している。 ・アセスメントをしっかり行うことで様々な背景が見えてくる。また遠方でなかなか会えない家族などは電話連絡などをして近況報告し安心して頂けるようにしている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時や相談があった場合は必要なサービスを検討し提案している。 ・本人・家族が今までの支援で出来なかった事を入居してできる事へ提案・説明をしていく。 		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・本人が出来る事を支援していく。 ・本人の残存機能を活かしながら声掛けをし支援を行っている。また出来る事を見つけれられるように普段のコミュニケーションを大事にしている。 ・「老化＝何もできなくなる」と捉えずに出来る事を褒めて支えあう。役割分担を意識したケアを心がけている。 		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況の中で病院受診や面会が厳しくなっている。 ・病院受診や面会時に家族と一緒に過ごせていたが今はコロナ禍で疎遠になっているように感じる。 ・コロナ禍で長時間の面会は出来ないが、短い時間の中でも生活状況を報告し家族との時間を大切にしているように努めている。 ・3カ月おきに施設での生活状況や身体状況などを記載した報告書を請求書発送時に送付しており、把握して頂いていると思う。 		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションで回想法を行い昔話をしてもらったり馴染みの場所へドライブへ出かける事もあった。 ・理美容は契約時に馴染みの場所へお連れしてほしいと依頼はしているがコロナ禍なので法人に来ている理美容に依頼している。 	家族の面会や電話にて関係が途切れないように努めている。かかりつけ医への受診支援や法人内合同行事の際に入居前の職員や知人との交流の機会を作り、これまでの関係が継続できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・レク活動時などは隣席同士で協力し合いながら取り組んでいる様子が見られる。 ・会話の橋渡しをしたり全員参加型のレクリエーションを工夫している。 ・レクや行事で利用者同士が楽しめるよう職員が工夫している。 ・談笑をしながら一緒に洗濯物を畳んでいる微笑ましい場面がみられる。 ・利用者同士の関係性を大事にもらう為に様々な支援をしている。 		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・退去後も相談があれば出来る限り対応するように心掛けている。 ・退去後に次のサービス支援の橋渡しも依頼があれば助言・橋渡しをしている。 		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく本人の意向に沿えるように努めているが、困難な場合もありその都度対応している。 ・日常生活の中で各利用者様の思いや意向の把握に努めている。 ・本人からの思いを尊重し可能な限り支援を行い安心した生活を送って頂けるように努めている。 ・本人が訴える事が出来る人は対応出来るが、意思疎通が困難な利用者様は職員間で情報交換をしている。 ・本人の想いを尊重した支援を心がけているが本人と家族の意向が違い戸惑う事もある。家族よりの支援になってしまう事もある。 	日常の会話や満足度調査から本人の思いや意向を把握するように努めている。得られた情報は記録して申し送り時に共有するとともに、3ヶ月に1回送付する家族への近況報告に含め、家族と協力して本人の意向に対応できるように努めている。意思疎通が困難な利用者には、家族やこれまでのかかわりの中から情報を得たり、行動を一緒にすることで本人の思いを推測して支援に活かしている。	
----	---	---	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前のアセスメントや家族からの会話の中から引き出して探りながら把握している。 ・入居前に家族からの情報を聞き努めている。 ・個人ファイルを確認しサービス内容について把握し実施出来るように努めている。 ・各自の部屋に本人が使用していた物を置き心の安定を図っている。 ・本人と話をすることで生活環境などを知りどのように経過してきたのか把握を努めている。 		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の状態観察に努め職員間での報告・連絡を密にし、また記録にも残し状態を把握しより良い支援が出来るように努めている。 ・居場所をはっきりしていたら時間通りに自席に着かなくてもいいのか？ ・傾聴しながら努めているが難しいところもある。 ・一人一人の対応に戸惑う時もあるが、状態に合わせて対応し様子観察を行っている。 ・状態観察を行い職員間で共有している。変化があった時は家族・看護師に相談し受診をしている。 ・基本情報を基に職員間で情報共有している。また状態変化があった時は看護師と連携して家族や主治医へ相談をしている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人やご家族、関わっていた担当者に話を聞き作成している。その人に応じた支援計画書を作成し定期的にモニタリングをしている。変化があった際には区分変更をしている。 ・事業所会議で個人の課題を挙げて意見を出し合っている。家族にも提案した内容の説明を行い支援を行っている。 ・事業所会議で話し合っている。 ・ケアマネが作成したプランを基に支援している。もう少し熟知していきたい。 ・毎月の事業所会議で一人一人の利用者の状況を報告し支援の仕方を話し合っている。 	<p>毎月の事業所会議でカンファレンスを実施し、一人ひとりの利用者について話し合っている。担当者会議では、本人の希望や家族の要望を基に医師・職員の意見を入れて介護計画を作成している。4ヶ月毎にモニタリングを実施し、必要な見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身体状況や変化時・感じたこと、起こったことは詳しく記録に残し職員間で共有出来るようにしている。 ・各記録をし職員間で共有をしているが出来ていない事もあり反省することがある。 ・連絡帳・朝礼等で対応している。 ・日々の状態・行事・レクの状況などは支援経過記録へ記載している。 ・個別記録へ日々の様子を記載している。医療面は看護師に報告している。 ・介護日誌・個人日誌・連絡帳を活用し共有に努めている。事業所会議時に話し合い意見交換をしている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病院受診や理美容など家族対応が困難な時は施設で対応している。また買い物や墓参りなど本人から要望があれば可能な限り対応している。 ・介護度が上がるにつれて介護と看護の連携が必須になってきている。ADL面が維持出来るように理学療法士から助言をもらったりしている。 ・急変や事故が発生した場合は管理者・家族へ報告し対応している。 		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事などに出来るだけ参加し楽しめるように努めたがコロナ過で思うようにいかなかった。 ・一人一人が安全で豊かな生活が出来るよう推進会議で地域の行事の案内を聞いている。 ・避難訓練は地域住民の参加は無かったが消防の協力はあった。 		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前から主治医の継続をしているが、ご家族が県外在住や対応が困難な場合は説明をし往診ができる病院を紹介している。受診時はバイタルチェック表や日頃の状態を記載した文書を作成しFAXか持参して頂いている。 ・受診に関しては本人・家族の希望を聞き対応している。急変時は家族へ状態報告を行い、家族の付き添いが困難な時は職員が受診の付き添いを行っている。 ・定期的に往診・受診を受けている。 ・主治医が対応困難な場合は家族に希望の病院を聞いている。 ・かかりつけ医との連携を図り急変時は受診できるように支援している。 	<p>入居前からのかかりつけ医の継続と家族の受診同行を基本にしているが、困難な場合は職員が受診の同行支援をすることもあり、月1~2回の往診の利用者もいる。月2回法人デイサービスの看護師による健康管理を実施し、適切な医療を受けられるよう支援している。緊急時は、看護師に相談し主治医への連絡または救急搬送で対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・状態変化があった時は助言をもらっている。月に2回法人内の看護師による健康チェックを受けている。 ・体調不良時は看護師へ相談し指示を仰いでいる。 ・突発的なことは管理者から指示をもらったり一人で判断しないようにしている。 ・健康チェック時・身体の異常時は看護師へ報告し指示をもらっている。 ・介護員の「気づき」は看護師へ相談している。受診の必要性は判断してもらい対応している。 ・月2回健康チェックをしてもらい変化時は状態を見てもらったり相談したりと協働出来ている。 		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供書の作成やケアプランを提供している。また不明な点は電話情報交換に努めている。随時様子伺いの連絡を行い退院までの支援を行っている。 ・入院中でも安心して治療して頂けるようにしている。 ・入院時に受け入れの病院へ情報提供書を作成し速やかに送っている。入院中の状態確認の連絡を定期的に行い早期退院に努めている。 ・管理者を通り病院との関係作りをしている。 ・病院からの聞き取りにしっかり答えられるようにする。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 急変時や重度化に伴い必要時に家族へ連絡を取り事業所内で出来る事を話し合い説明を行っている。 	<p>契約時に重度化等の場合の事業所対応の方針を説明している。重度化等の場合に看取りを希望する家族もあるが、職員の体制が整っていないため家族に説明し、事業所でできる最大限の支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<ul style="list-style-type: none"> AEDの使用や人工呼吸など法人の研修で実施している。夜間は管理者・看護師へ指示を仰いでいる。 管理者不在時は看護師へ指示を仰いでいる。落ち着いて説明が出来るようにする。 職員間で対応の仕方を話し合っている。 	/	/
35		<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に災害に備えて訓練をしている。 法人内の訓練(昼間想定・夜間想定)で振り返りをしている。 日中と夜間の想定で災害になった時に対応出来るように訓練をしている。 火災・地震等は年に3回(昼間・夜間想定、非常招集訓練)を行っている。地域や消防署へ協力をもらい全職員が対応の在り方について学んでいる。 	<p>年3回の火災・地震避難訓練を実施し、そのうち、1回は非常招集訓練、2回は消防署立ち合いで昼夜想定 of 訓練を法人で実施している。コロナ禍のため地域住民の訓練への参加はないが、連絡網に入っており消防団や地域の協力体制を築いている。非常用の備蓄は、法人で100人分3日間の食料等を一括して確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉かけ、対応の仕方など敬意を払うように心掛けているが忙しさにかまけて反省すべき点があった。 ・優しい声掛けをするようにしているが余裕がない時は語気が強くなる時もあった。 ・人格の尊重とプライバシーを損なわないようにコミュニケーションを図る際は距離感やここ場掛けを気を付けて対応している。 ・心掛けてはいるがつい馴れ慣れし声掛けをしてしまい気を付けなければと思う事がある。 ・排泄時に便座に座るまで見守るもドアを閉め忘れる事がある。 	<p>研修を実施し、人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。排泄介助時にドアの外で職員が待つのを嫌がる場合は、転倒などの危険性を説明し本人の理解を得てから行ない、入浴介助は本人の気持ちを尊重し、できない部分のみ介助するようにしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく本人の意に沿えるように努めているが職員の都合で動いている時がある。 ・尋ねてみたり、時間を追ったりし表現できるように働きかけている。 ・本人の思いや希望を聞きとり本人の決定を待ち安全を確認し支援を行っている。 ・その利用者の思いや希望を上手に引き出せるように工夫・配慮している。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・個々で違うのでレク活動や体操など強制はしていない。 ・一人一人のペースに合わせてその時の気持ちを聞きながら過ごして頂いている。 ・希望に沿って支援出来るように日々努力してる。 ・自己決定が出来、自身で動ける人は本人のペースで生活していると思うが、そうでない人は職員の都合で動いているようにも思う。 ・これからはその人らしい生活を送れるように希望を聞いて出来る範囲で支援していきたい。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔保持に心掛けている。髭剃りは毎日声掛けをし爪切りは定期的に職員が切っている。 ・入浴準備の際は自身で衣類を選び着用している。 ・女性は整髪を男性は髭剃りを促し毎日気持ちよく生活出来るように声掛けしている。 ・衣類のほつれは職員で繕っている。必要なものは家族に依頼している。 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・食事を安全に摂って頂くために個々に応じた食事形態を提供している。 ・食事前に口腔体操を実施し美味しく安全に食べていただけるようにしている。 ・利用者と一緒に準備や片付けは出来ないが負担の少ない台拭きや床掃除はして頂いている。 ・日々の献立を説明したり行事食の時は何の日か話をしてしている。 ・アレルギーや嗜好調査を契約時に聞き取りをし、美味しく・安全に食べていただけるようにしている。 	法人の管理栄養士が立てた献立で調理担当の職員が調理し、個々に応じた食事形態で提供しており、利用者も台ふきなどを一緒に行っている。嗜好調査やアレルギーの有無を調査し、必要時は代替食を準備しており、行事食やノンアルコールの提供等、安心して食事を楽しめるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の管理栄養士が考えたバランスの良い食事を職員が交代で調理している。水分もお茶時以外でも飲めるように声掛けをしている。 ・個々に応じた量や食事形態で提供している。自力摂取を促している。 ・毎食、摂取量の確認や観察をしている。利用者によっては個人で購入した飲み物を飲んでいる人もいる。 ・食事量・水分量は記録し健康管理に努めている。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後口腔ケアを実施し口腔内の衛生管理に努めている。義歯使用者は週3回ポリデントで消毒している。 ・自己にて歯磨きをしている人に関しては確認が不十分である。 ・個人の口腔状態を知るために口腔内の写真を撮ったりブラシの確認をしている。 ・法人の口腔委員会で事業所間の情報を伝え指導を仰いでいる。 		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄チェック表を基に声掛け・誘導をしている。排便の確認も行い下剤の調整をしている。 ・個々に応じた排泄の支援をしている。 ・夜間帯、歩行困難の為PWCを使用する利用者が増えた。 ・時間をみてトイレの誘導をしている。排泄の訴えがあった時はその都度対応している。 	トイレでの排泄を基本に支援しており、排泄チェック表で把握したパターンに応じた声掛け誘導や時間を見ての声掛け等、個々に応じて支援している。転倒予防のため、夜間のみパット交換やポータブルトイレを使用する利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・定期薬に排便を促す薬が入っている利用者もいるが、排便チェック表を基に数日排便がない場合は水分を多めに促したり動ける利用者は散歩など軽めの運動をしている。 ・便秘予防の為、水分摂取を促したり、レクにて体操をし体を動かしている。下剤を服用した時は確認を行っている。 ・なるべく自然排便を心がけている。 		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴を楽しんでいただけるように湯舟に使っていただけるようにしている。拒否があった場合は無理強いをせず時間をおいて声掛けをしたり、日にちを改めている。 ・本人の希望を聞きゆっくりと湯舟に浸かって楽しんでいただいている。 ・希望があれば毎日入浴をしている。 	週3回希望の時間に入浴を支援し、希望があれば毎日の入浴も支援している。季節によってはしょうぶ湯等を取り入れ、浴槽に浸かってゆっくり楽しんでもらえるようにしている。嫌がる場合は、声掛けを変えるなどで対応し、無理強いせずに入浴支援を実施している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・食後は休憩の時間を取りゆっくり休んでおられる。夜間は30分おきに巡視をし事故防止に努めている。 ・本人の生活習慣に合わせて対応している。 ・夜間は安眠に繋がるように空調や電飾・騒音に気を付けている。 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・薬情をファイルに閉じ職員がいつでも確認出来るようにしている。誤薬防止の為、配役・服薬確認を職員間で確認しあっている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 嗜好品は本人希望出準備をしている方もおり楽しみにしている。出来る事はしてもらい自信につながるようにしている。 毎日の生活の中で個人の役割を与え職員一緒に出来る事を行っている。気分転換は外の空気を吸ったり顔なじみの人と話をする事で気分転換が図れていると思う。 衣類畳みや手摺り拭きを率先してする利用者がおり頼んでいる。 散歩がてら同じ法人内にいる家族に会いに行くことを楽しみにしている利用者もいる。 		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で外出が思うようにできなかった。ゴミ捨てに同行してもらったりした。 たまに近くの神社や観光地にドライブに出かけた。 気候が良い時は公園へ弁当持参で遠足に出かけた。 	<p>コロナ禍で制限はされるが、近隣の散歩やドライブ、公園への弁当持参の遠足、ミカン狩り等、外出の機会を作って取り組んでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> 預かり金として管理者が管理している。外出時や必要なものがあればそこから出している。 3名ほど少額ではあるが自己管理をしている。希望があれば買い物の支援をしている。 		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話を持っている人が2名おり、うち一名は日曜日に息子さんから電話がかかってくる。会話を楽しんでいる。 ご家族より連絡があった場合は本人に繋げて心の安定を図っている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・天窓によって光を取り入れ室内が明るく感じる。フロアの壁面には職員と一緒に作った季節の壁画が飾っている。 ・共有スペースは気持ちよく生活して頂くためにこまめに掃除をしている。壁画や花を飾り窓側にソファを配置し日向ぼっこをしている利用者もいる。 	天窓がありフロアは明るく、加湿器やエアコンで適度な室内環境を調節し、換気も窓を開けて十分行っている。壁には季節の作品を飾って季節を感じられるよう工夫し、利用者が個々に好みの場所でくつろげるように、畳コーナーの堀こたつや窓辺のソファ等を配置している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・自室に案内してもフロアに集まり自席で過ごしている利用者が多いが、ソファで静かに休まれている利用者もいる。 ・決まった席で食事やお茶を飲まれている。席の配置は利用者間の相性を考えて配置している。 	/	/
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の大切な物や使い慣れたものをそばに置き安心して過ごして頂けるように配慮している。 自宅ですべて使っていた時計や家族の写真を持って来てもらい安心した居室になるように本人に聞き取りをしながら配置した。 	居室にはベッドや洗面台・エアコンがあり、リース利用の寝具がある。本人の好みや必要により、タンスやテレビの家具・位牌・遺影・写真を身近に置いたり、新聞購読や編み物等の趣味に取り組むなど、本人が居心地よく過ごせるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りの下、出来る事はしてもらい自立した生活が遅れるようにしてもらっているが、年々介助量も増え限られてきている。 ・転倒のリスクが少しでも減るように机の配置や張り紙による注意喚起をしている。 ・トイレのドアに張り紙をし、自室が分からなくなる利用者には居室ドアに名前を書いた紙を貼って分かりやすいようにしている。 		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない